

## 第9回益城町まちづくり専門委員会 議事概要

日時：令和3年9月29日（水）13：30～14：30

場所：町役場仮設庁舎 会議室棟2階 大会議室

出席：松本委員長（町議会）、円山副委員長（熊本大学）、富田委員（町議会）、上村委員（町議会）、山本委員（熊本市消防局益城西原消防署）、福永委員（町消防団長）、山内委員（町企画財政課）、姫野委員（町産業振興課）、富永委員（町生涯学習課）、村上委員（町都市計画課）、増田委員（町建設課）  
事務局（町復興整備課）

次の町3課については、別業務につき代理出席

…町危機管理課、町水道課、町下水道課

### 1. 開会

### 2. 委嘱状・任命状交付

### 3. 町長挨拶

西村町長より挨拶がありました。（以下、概略）

- ・委員の皆様におかれては、日頃より復興に向けてのご尽力いただきありがとうございます。
- ・本委員会はこれまで8回開催され、「災害に強い復興まちづくり」の実現に向け、町内各まちづくり協議会より提出された提案書を様々な観点から吟味していただき、益城町復興まちづくり計画（避難路・避難地編）を取りまとめることができました。
- ・本年3月末現在で町内に避難地が22カ所のうち17ヶ所、避難路が47路線のうち20路線整備され、着実に「災害に強い復興まちづくり」の実現に向けた歩みを続けているところです。
- ・本日の委員会では、避難路・避難地整備の進捗と復興まちづくり計画の更新について、委員の皆様のご熱心なご審議をお願いいたします。

### 4. 委員会設置要項の確認

### 5. 委員長挨拶

松本委員長より挨拶がありました。（以下、概略）

- ・前回から1年9ヵ月空いた専門委員会開催となり、その間、コロナ禍でありながらも避難地・避難路整備計画も動いており、事業進捗及び「復興ま

ちづくり計画の更新」と「復興まちづくり計画の今後の方針」が主な議題となります。

- ・ 本日の会議が実りあるものとなりますように、委員の皆様の率直なご意見をお願いします。

## 6. 審議

議題説明 事務局より、配布資料の3～6までを説明。

### 議題1 復興まちづくり計画の更新(案)

上村) 都市防災総合推進事業について、中山間部の集落部についても使えるかどうかというのが1点目です。

2点目ですが、小規模住宅地区改良事業については、予算要求が締め切られているとのことですが、一部調整中や調整中のものはいつまで使えるのか？

事務局) 1点目について、提案があった場合は県と相談してお答えしたいと思います。ただ、防災についてのことなので、使えないことはないだろうと考えています。

2点目の小規模住宅地区改良事業については、本年度まで事業は実施しています。地権者の同意が取れば、補正予算での対応を検討し、補正予算での対応が難しい場合は都市防災総合推進事業に乗り換えて対応を検討したいと思います。これも県との協議が必要となってくると思います。

上村) 乗り換えて使えるということですか？

事務局) 乗り換えで対応したいと思っていますところでは。

上村) わかりました。調整中についてですが、実際いろいろパターンがあると思います。話になっているのか、全く話になっていないのか。ある程度の時期がきたら、完全にそれ以上は進めないということであるなら、まず、まちづくり協議会やその地区に説明をして、ルートを変更してもらうなどの対応が必要だろうと考えていますが、それについてはどうですか？

事務局) 調整中のなかでも委託、発注を行って、設計図ができているところや委託業者の立入りも拒否されているところがあります。

復興まちづくり計画も令和5年度まで延ばし、先程の説明のとおり、令和7年度末まで考えているところですので、測量設計が終わっているところは地権者及びまちづくり協議会と一緒に事業を進めていきたいと思えます。

測量にも入っていないところは、まちづくり協議会と協議をして、実施が難しい場合は、復興まちづくり計画から下ろしてもらうことも考えているところでもあります。

まずは、終わりを見据えて、事業を始めて10年間。ギリギリまで交渉などを進めていきたいと考えているところです。

上村) わかりました。もう1点、これは質問ではなく要望になりますが、交渉がなかなかできていない、途中から誰も来なくなったというかたちのところの話ですが、交渉っていうのは営業とかで言えば、昔ながらに「夜討ち朝駆け」と言って人間関係から作っていかないといけない。ただ、説明をするようなやり方で入っていても誰も受けつけてくれない。ですけど、提案場所というのは、まちづくり協議会、地元からの要望でもありますので、入りにくいところは、知人やまちづくり協議会の役員さん、権利者に親しい人など使えるものは何でも使って、交渉を進めていかないといけないと思いますので、これについてはよろしくをお願いします。

事務局) 貴重なご意見ありがとうございます。

円山) 調整中のところに関しては、上村委員のおっしゃる通りだと思います。

行政としてもやることはきちんとやると、一方でまちづくり提案については住民の皆さんの同意を得て実行するということではあるが、同意が十分でないのであれば、見直しということも必要だと思いますので、機をみて整えていくことと着実にやることはやっていくことが大事ななと思います。

資料の記載内容についてですが、資料3の3ページ。資料の内容について、平成30年度から令和5年度まで延ばすのなら5年間ではなく、6年間ではないでしょうか？おそらく誤植だとは思いますが。

前回の専門委員会から今回の専門委員会までの間に益城町の上位計画や関連計画がいろいろ変わっているような気がしていて、資料4の1ページでは「復興計画」が最上位計画とありますが、その後にも総合計画の見直しや都市計画マスタープランもあったりするので、その後のバージョンアップはした方がいいのでは無いかと思いました。

事務局) 1点目につきましては、ご指摘のとおり5年間ではなく6年間となります。こちらの記載ミスです。2点目の件につきましては、ご指摘のとおり、新たに総合計画や都市計画マスタープランなども策定されましたので、それも踏まえて検討していきたいと思います。

事務局) 先程の上村委員の意見にもありましたとおり、交渉については、誠心誠意対応していきたいと思います。よろしくをお願いします。

## 議題2 復興まちづくり計画の今後の方針(案)

円山) こういった形でハードの計画が進んでいき、ハードだけでなくソフトも大切だねと話があり、コロナ禍前までには各地域でイベントがあったり、そこに町からの補助もあり、いい盛り上がりも見せていたが、現在はコロナ禍もあってどうしてもイベントなどもできない。ただ、コロナ禍が落ち着いた後に向けて、ソフト面でまちづくりの盛り上がりができる仕掛けが大切ではないかと思えます。

それと同時に、これまでのまちづくり協議会の活動をまとめておくことも重要なかもしれないと思っています。

事務局) 運営補助金、にぎわい補助金をまちづくり協議会に出しています。運営補助金は申請が多いですが、にぎわい補助金は35%程度しか申請があがっていない状況です。

まちづくり協議会の運営支援とにぎわいに関する支援ということで今年度、測量会社に業務委託を行いまして、各まちづくり協議会に入って支援をしていきたいと思っています。

### 総括

事務局) 本日いただいたご意見を事務局も受け止めて、改めてまちづくり協議会と話をしながら、事業をすすめていきたいと思えます。

### 承認

議長より承認の確認。議題1、2とも承認。

## 7. 閉会